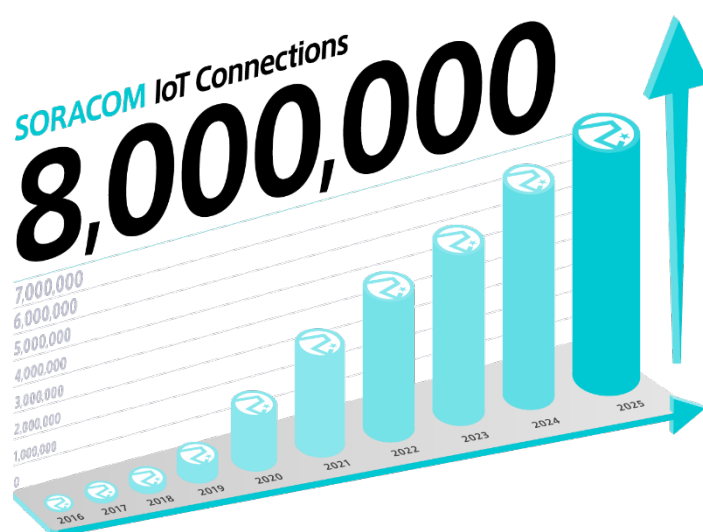


2025 年 7 月 16 日  
株式会社ソラコム

## IoT プラットフォーム SORACOM の契約回線が、 800 万回線を突破

AI の融合を推進する「リアルワールド AI プラットフォーム」構想を発表

株式会社ソラコム(本社:東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川憲)は、データ通信サービス「SORACOM Air」の契約回線数(\*1)が、800 万を突破したことをお知らせします。



(\*1) 海外法人からの提供を含む SORACOM Air の総回線数。SORACOM Air for セルラー、Sigfox、LoRaWAN を含む。

ソラコムは、2015 年に IoT 通信サービス「SORACOM Air」を皮切りにサービスを開始して以来、センサーやデバイスから収集されるデータを、クラウドと連携して活用できる仕組みを開発者や企業に提供してまいりました。1 回線から利用できる柔軟な契約形態、Web コンソールや API による一括管理機能、開発支援サービスの充実により、「SORACOM Air for セルラー」全体では、213 の国と地域、509 キャリアに対応し、世界中の幅広い業界で利用されています。



「SORACOM Air for セルラー」全体で 213 の国と地域、509 キャリアに対応

また、IoT プラットフォーム「SORACOM」の提供開始から 10 年目を迎えるにあたり、日本発のグローバル IoT プラットフォーマーから、IoT と AI の融合を軸にした新しいプラットフォーム「リアルワールド AI プラットフォーム」を提供する先駆的なプラットフォームになるという新たな戦略を掲げました。



ソラコムはこれまで、世界中の人やモノをつなぎ、共鳴する社会を目指す IoT プラットフォームを提供しつつ、早期から AI を組み合わせることで IoT のビジョンの実現を推進してきました。そして今、世界中に張り巡らされた IoT デバイスから集められる「Physical(フィジカル)」な情報に、企業や組織、個人が持つ膨大な「Digital(デジタル)」情報を加え、さらに急速に進化している「AI&Cloud」が融合することで、データ活用は、新たな段階に入りつつあります。

この 10 年間で培った IoT とクラウドを繋ぐノウハウと、早期から取り組んできた AI の知見を結集し、ソラコムは現実世界のすべてを AI につなぎ込み、より良い未来を創造する「リアルワールド AI プラットフォーム」へと進化していきます。AI の進化によって、これまで描いてきた IoT の世界観を実現しつつ、あらゆる情報を取り込むことで更に発展させ、よりよい世界を実現するためのプラットフォームとなることを目指します。

ソラコムでの最近の取り組みとしては以下のようなものがあります。

## ■ 蓄積した「Digital」情報を、生成 AI で「価値」に変える

### 「OpenAI API プラットフォーム」エンタープライズ契約:

業界をリードする OpenAI との契約により、生成 AI を組み込んだサービスとプロダクト開発をさらに加速し、同時により安定的なプラットフォームの提供と安心して利用いただける環境を構築していきます。

### 業務支援のための生成 AI ボットサービス「Wisora」:

社内外のユーザーの知識を現場で使える「知恵」に進化させる生成 AI による業務支援ソリューションです。AI ボットを、ビジネス現場の問題を解決し、より良い判断をするためのサービスに進化させます。

## ■ SORACOM プラットフォームも AI Enabled へ

### AI による現場業務の自動化、省人化を実現する、「ソラカメ」と「SORACOM Flux」:

「ソラカメ」は簡単に設置できる IoT の眼となるクラウド型カメラサービスです。「SORACOM Flux」は、生成 AI を活用した IoT のための自動化アプリを構築できるサービスです。ソラカメの画像と動画を、SORACOM Flux を通じて生成 AI で分析することで、すでに在庫管理や侵入検知などの業務で利用が広がっています。

### データ活用を加速するデータ分析基盤サービス「SORACOM Query」:

「SORACOM Query」は、SORACOM 上でデータ分析するための基盤です。「Query アシスタント AI」を実装し、IoT データや通信データを自然言語クエリで分析でき、専門のエンジニアでなくても、データの傾向や異常を可視化し、迅速な対応が可能になりました。

### 生成 AI との接続を可能にする「MCP サーバー」:

API モジュールを公開し、生成 AI モデルから SORACOM を操作可能に。例えば、課金情報の分析や障害発生の兆候把握を自然言語でシームレスに操作できるようになります。

## ■ 世界中の「Physical」情報をつなぐ、コネクティビティへのこだわり

### 最新の SIM テクノロジーと通信規格への対応:

次世代 SIM テクノロジーである「iSIM」に対応するモジュールをいち早く商用提供しました。また、SORACOM IoT SIM に衛星通信サービスを追加できる「planNT1」を提供しています。

### 複数のプロファイルを追加・管理する「SORACOM Connectivity Hypervisor」:

1 枚の SIM に、SORACOM 以外の通信事業者が提供する複数の通信プロファイルを追加・切替可能にする機能です。IoT 向け次世代 eUICC 規格 SGP.32 に対応した「SORACOM IoT SIM」を 2025 年度内に新たに提供開始する予定です。

ソラコムは、引き続き「誰もがテクノロジーを使えるようにする」というミッションのもと、IoTとAIの融合をさらに加速させ、リアルな世界の変革と、よりよい社会の実現を支援してまいります。

## ソラコムについて

IoT プラットフォーム SORACOM は、世界213以上の国と地域でつながる IoT 通信を軸に、IoT を活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業 DX から、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト <https://soracom.com>

## SORACOM Discovery について

「SORACOM Discovery」は、IoT の最新事例や活用ノウハウを共有し、業界を越えたネットワーキングと学びの機会を提供する、株式会社ソラコムが主催する年次カンファレンスです。2025 年は、7 月 16 日(水)に東京ミッドタウンで開催します。

例年、多彩なセッションや展示、ネットワーキングを通じて、IoT の新しい価値創出や課題解決のヒントを提供しています。

「SORACOM Discovery 2025」公式サイト: <https://discovery.soracom.jp/>

## 本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム 広報 田渕  
[pr@soracom.jp](mailto:pr@soracom.jp)